

# 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

～ 井原市の地方創生プロジェクト ～



井原市

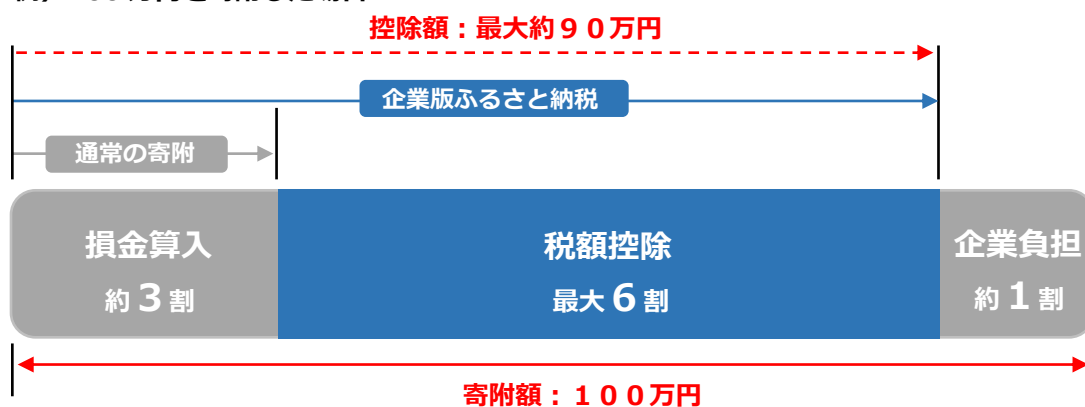
# 井原市の地方創生を応援してください！

「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」は、国が認定する地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業様から寄附をいただくことにより、地方創生の深化を目的とした取組です。

令和2年度にこの制度が大幅に見直されたことで、寄附額の最大約9割が法人関係税で軽減され、企業様の実質的な負担を約1割にまで圧縮することができるようになり、より使いやすい仕組みになりました。

## 《税制措置のイメージ》

例) 100万円を寄附した場合



※本社が井原市外にある企業で、1回あたり100万円以上のご寄附が対象です。

## 《企業の皆様のメリット》

- ★ 法人関係税において寄附額の約9割に相当する大きな軽減効果を得ることができます。
- ★ 社会貢献に取り組む企業としてのPR効果（SDGsの達成など）が期待できます。井原市では、企業版ふるさと納税を通じて地方創生に応援していただいた企業様を市ホームページや広報誌等で広くご紹介させていただきます。
- ★ 1回のご寄附が100万円以上の場合、本市より感謝状を贈呈させていただきます。

# いばらブランドの育成・PR

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるまちをつくる！



地場産業であり、世界のハイブランドからも高い評価を得ている井原デニムをはじめ、特産品である葡萄や明治ごんぼうなど、品質のさらなる向上によりブランド化を図るとともに、異業種連携プラットフォームを構築し、企業の異業種連携による新製品等の開発から販路の確保までを一貫して支援することで、攻めの経営を後押しし、稼ぐ力の向上と安心して働けるまちづくりに取り組みます。

## 寄附活用事業の概要

**令和6年度事業費 16,348千円**

### ★ 井原デニムによる地域活性化事業 1,950千円

綿の種を無料で配布し、各家庭で綿花栽培に取り組んでもらい、市内の事業者や県立井原高等学校の生徒、ボランティアが、収穫した綿で井原ハートフルデニムバッグを製作。毎年、市内の小学校へ入学する子供たちにお祝いとしてプレゼントしています。また、井原デニムを活用した体験型のイベントを開催するなど、地域活性化に取り組めます。

### ★ いばら農産物産地化支援事業 4,400千円

冬ぶどうをはじめ、明治ごんぼう、薬用作物の産地確立に向けて取り組む団体やワイン産業・農産物の6次化に取り組む事業者に対して補助金を交付し、その取り組みを後押しするとともに、農業後継者の就業を支援することで農業の担い手の確保と育成を図ります。

### ★ 産業支援・異業種連携促進事業 9,998千円

企業が持つ事業計画や成長戦略を、スピード感を持って具現化する等の後押しを行うとともに、企業が業界を超えて連携する「異業種連携プラットフォーム」を構築し、異業種連携による新商品等の開発から販路の確保までを一貫して支援することで、本市の産業集積や成長発展を促進します。

# 関係人口の創出といばらぐらしの推進

つながりを築き、井原市への新しいひとの流れをつくる！



関連する  
SDGs

1 貧困をなくそう

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナリシップで目標を達成しよう

星空版の世界遺産と称されるダークスカイ・インターナショナルの「星空保護区・コミュニティ部門」にアジアで初めて認定された美星町の美しい星空などの地域資源に磨きをかけ、戦略的な情報発信により関係人口の創出を図るとともに、井原駅前通りや商店街沿線の魅力向上と賑わいの創出を図ります。また、移住体験や住環境の確保支援など、移住者に魅力ある住宅施策を実施し、定住人口の増加を図ります。

## 寄附活用事業の概要

**令和6年度事業費 95,190千円**

### ★ シティプロモーション事業 7,997千円

特産品をはじめ、地場産業、文化、美しい自然等の優れた地域資源などを、市内外、国内外に向けて戦略的に発信することで、市民には愛着と誇りの醸成を、市外の方には本市の認知度及びイメージの向上を図ります。

### ★ 星の郷まちづくり推進事業 2,293千円

国際的な認定制度「星空保護区（コミュニティ部門）」のアジア初認定（R3.11.1）を受けて、観光PRイベントへの出展、啓発セミナーの開催など、官民一体となった取組を推進していきます。

### ★ 井原駅前及び商店街を核とした賑わいの創出 20,000千円

本市の玄関口である井原駅前通り及び井原町の商店街に店舗等を新規に出店する事業者を支援することで、民間による商業施設の集積を促し、賑わいの創出を図ります。

### ★ いばらLIFEスタート応援メニュー 64,900千円

移住者住宅新築等補助金、中古住宅活用補助金、就職者等移住支援補助金、分譲宅地開発助成金など、計8事業により、住居の確保を支援し、移住定住を促進します。

# 未来を担うひとづくり推進事業

自分と井原への確かな『IDentity』をもった人財【井原“志”民】の育成



★自分とふるさと井原を  
愛（I）する”ひと”

★よりよい未来のために  
実行（Do）する”ひと”



星空版の世界遺産と称される「星空保護区（コミュニティ部門）」にアジアで初めて認定された井原市美星町では、地域住民が一体となって世界に誇れる星空環境を守る取組を行っています。

そうした「志（思い）」を子どもたちに受け継ぐとともに、子どもたちがふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと」に出逢い、地域の大人たちと一緒に新たな仕掛け・価値の創造や、抱える課題の解決に参画することで、持続可能な“まちづくり”を支える“ひとづくり”を進めます。

## 寄附活用事業の概要

**令和6年度事業費 14,200千円**

### ★ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業 12,200千円

官学産民の代表者及び有識者で組織した「井原市ひとづくり実行委員会」を立ち上げ、地域と学校、家庭が連携して、ふるさと井原を自らの活躍の場として選んでよりよい未来を創り出そうとする高い志と熱い思いをもった〈井原“志”民〉の育成と〈志縁コミュニティ〉づくりに取り組みます。

#### 柱1：ひとづくりのまち「井原」の発信

まち&ひとづくりフェスタの開催、夢&志づくり応援団『ゆめここ☆ラボ@井原』の運営等

#### 柱2：社会に開かれた教育課程の実現

ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れたカリキュラム・マネジメントの促進等

#### 柱3：地域社会・企業との連携

地域と学校の連携・協働によるひとづくりネットワークの構築

#### 柱4：高等学校及び大学との連携

ひとづくり事業への学生の参加、大学との連携促進等

#### 柱5：家庭教育の支援

ライフステージに応じた子育て講座、子育てサポーターの養成等

#### 柱6：読書活動の推進

絵本ガイドブックの作成、絵本作り講座及び読み聞かせ講座の実施等

### ★いばら就職支援事業 2,000千円

ワーク&ライフキャリア教育を重視したインターンシップや合同企業説明会を開催します。

# 子育てしやすいまちづくり

結婚・出産・子育ての希望をかなえる！



本市の合計特殊出生率は全国平均、岡山県平均ともに下回っています。

このような状況で、市民皆様の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、出会いの場を提供し、母子保健の充実や保育の質の向上、子育ての費用負担軽減に努めるなど、結婚・出産・子育てがしやすい環境づくりに取り組みます。

## 寄附活用事業の概要

**令和6年度事業費 348,323千円**

### ★ 出会いと交流の場づくり事業 500千円

出会いや交流の機会が減少した若者たちの仲間づくり、絆づくりの場を創出します。

### ★ 子ども家庭総合支援拠点運営事業 4,360千円

子育て支援課に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し相談員を配置することで、子どもや家庭等への支援の強化を図ります。

### ★ つどいの広場事業 8,563千円

乳幼児の親子や乳幼児同士が交流し、子育て中の保護者が子育てアドバイザーや保護者同士で気軽に相談できる憩いの場として環境の整備に努めています。

### ★ 保育園・幼稚園保育料等無償化事業 144,900千円

国の無償化対象とならない園児の保育料及び給食副食費を市独自に完全無償化し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

### ★ 子ども医療費無償化事業 190,000千円

満18歳に達した日以後の最初の3月31日まで、医療費の自己負担分を無償化（小学生通院、中学生から18歳までの入通院を市独自で無償化）し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

# 子どもの教育環境の充実

子どもたちの豊かな心の育成と学力向上を図る！



## 関連する SDGs



これからの情報化社会の進展に対応できる人材を育成するため、ICT機器を活用した教育を推進し、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、情報活用能力や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。

また、複数教職員による指導により、教員の教材研究の時間確保、指導内容の充実ときめ細かな指導に努めます。

## 寄附活用事業の概要

**令和6年度事業費 141,878千円**

### ★ 学校ICTサポート体制整備事業 22,000千円

市内全ての小・中学校、市立高校、大山塾へICT支援員を配置して、ICT教育の推進を図ります。

### ★ 学習支援員の配置 92,907千円

学習支援員（42名）を配置して、通常学級に在籍し、一人での学習が困難な児童・生徒に対するサポートを行います。

### ★ デジタル教科書整備事業 8,000千円

デジタル教科書の更新を行い、ICT機器を活用した教育を推進することで情報活用能力・思考力・表現力の育成を図ります。

### ★ いばらっ子伸びる学力支援事業 18,971千円

少人数指導及び専門性を生かした学習指導を充実させるため、小・中学校に非常勤講師8人を配置します。また、学校生活のスムーズなスタートに向け、小学校1年生の30人以上の学級に小1支援員3人を配置します。

# 協働によるまちづくりの推進

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる！



市民の皆様と行政が連携し、互いの役割分担を図りながら、地域が自主的、主体的に活動することができるよう、協働によるまちづくりを推進します。

## 寄附活用事業の概要

**令和6年度事業費 29,425千円**

### ★ 協働のまちづくり事業 29,425千円

市内小学校区単位に設立された「地区まちづくり協議会」の運営及び地域課題の解決やよりよい住民生活を送るために「地区まちづくり協議会」が企画立案し実施するまちづくり事業を支援することで、住民の皆様が「住んでいてよかった、住み続けたい」と思えるまちの実現を図ります。

《令和6年度の主な活動》

- ① 「ふるさとかかし」「かかしコンテスト」による地域活性化事業（県の里まちづくり推進協議会）
- ② 雄神川流域の自然と環境を保護する事業（西江原地区まちづくり協議会）
- ③ 「生活の足」対策事業（野上町まちづくり協議会）
- ④ 賑わい創生事業（大江まちづくり協議会）
- ⑤ きのこふれあいクリスマス会（木之子地区振興協議会）
- ⑥ ご当地愛醸成事業（芳井町まちづくり協議会）



## ★★★ ご寄附までの流れ ★★★

(1) 寄附の申し込み

寄附を行う事業等について企画振興課にご相談ください。

その後、別添の寄附申出書に必要事項をご記入のうえ、企画振興課へご提出ください。

(2) 井原市より納付書の送付又は振込口座のお知らせ

納付書による納付、又は口座振込による納付が選択できます。

(3) 寄附金の納付

選択いただいた方法により、寄附金を納付してください。

(4) 井原市より受領証の交付

寄附を行った企業様に対して受領証を交付します。

(5) 税申告の手続き

受領証を用いて税控除に関する申告を行ってください。

ご寄附をご検討いただけます企業様におかれましては、  
詳細をご説明させていただきますので、下記担当まで  
お気軽にご連絡ください。

〒715-8601 岡山県井原市井原町 311 番地 1

井原市役所 総合政策部 企画振興課

担当：谷本 英樹

TEL：0866-62-9521

E-mail：kikaku@city.ibara.lg.jp